

会 議 録

内容承認	公開・非公開の別	<開催日>令和4年5月31日(火) <時 間>14:00~16:00 <場 所>岸和田市役所 新館4階 第1委員会室	<傍聴人数> 3名 <傍聴室>同左
新川会長	公開		
承認			

<名称> 令和4年度第1回 岸和田市総合計画審議会

<出席者>委員 20名中 17名 ○は出席、■は欠席

新川	久	窪田	池島	藤田	新井	松阪	中川
○	○	○	■	○	○	■	○
田口	沖藤	高原	久禮	中井	音掬	山田	武田
○	○	○	○	○	○	■	○
齊藤	鳥居	道下	小関				
○	○	○	○				

事務局) 総合政策部：西川部長

企画課：貝口課長、中井担当長、前田主任、上田担当員

<議題>

- 1 開会
- 2 次期総合計画の基本構想（パブリックコメント）案について
- 3 次期総合計画の基本計画素案について
（個別目標の方向性の確認と想定される公民の役割及び指標の議論）
- 4 その他
- 5 閉会

<会議内容>

■開会

■議題2について事務局から説明を実施

■意見表明及び質疑応答を実施（以下のとおり）

【委員】

P22~23「岸和田市の成り立ちと変遷」において、交通アクセスとして重要な鉄道についての記載がない。市の発展にも関わり、通勤都市としての利便性としての意味からも記載してはどうか。

【委員】

P20「位置」について、距離より所要時間の方が分かりやすい。例えば、難波であれば特急で23分、関空にも17~18分で行ける。時間的なことも記載してはどうか。

【事務局】

時間の記載も検討したが、交通手段などにより時間が変化するため、不変的な距離で記載した。

【委員】

以前から指摘しているが、P41「岸和田を強くする“3つの視点”の展開イメージ」の「時代を先取り・リードする先端技術の活用」部分について、目標に対して、「ICT技術の活用」という曖昧な表現が依然として残っている。先端技術のうちICTとして絞り込みをした意味では理解できる。もう少し各分野の具体的な例をあげてはどうか。単に「ICT技術の活用」では、どのようなことを考えているか分からない。

例えば、学校教育においては、個別学習（ポートフォリオ）の活用、健康においては、フィットネスのアプリやナッジ技術など、具体的に記載すればもう少し分かりやすくなると思う。

【委員】

P22の久米田池の写真について、数年前からこの桜の木がなくなっていて現状の状態と異なる。桜の写真にするのであれば、久米田池と久米田寺との桜の写真がよいのではないか。これから12年間使用するのであれば、差し替えた方がよい。

【委員】

P29のグラフ横軸の数字について、分かりづらい表記となっている。

【事務局】

お示したグラフの記載が誤っている。パブリックコメントまでに修正し提示する。

【委員】

P42「将来人口の方向性」において、2034年の推計値が約16万6千人とあるが、この推計値はどのデータに基づき算定されたものか。

【事務局】

岸和田市人口ビジョンで示している推計値をもとに算出している。具体的には、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口から、2034年の値を約16万6千人と推計している。

【委員】

丘陵地区の開発や宅地分譲もあり、人口増加が見込める要素がある。マクロ的な数値目標もよいが、岸和田市の独自要素を考慮した目標を掲げるのもよいのではないか。

【委員】

P38～39「岸和田を強くする“3つの視点”」に「海から山までの多様な地域資源の活用」とあるが、漠然とした活用を示すのではなく、もう一步踏み込んだ形で示した方がよいのではないか。

例えば、災害時に備え、行政でも一定の食糧備蓄はあるが、地産の物を保存できるように加工

して備蓄し、何かあった時に市民に提供するというような考え方も大切である。市民や企業の力を活かせば、実現可能なものがたくさんある。

【委員】

P29 のグラフ上の配色と凡例が一致していない。

【委員】

基本計画で位置付けられる重点目標は、P51 に記載の個別目標と一致してくるのか。

【事務局】

重点目標は、市長の公約とも連動しながら、基本計画の4年間に重点的に進める項目について記載するもの。現在検討を進めている基本計画に記載している、個別計画や個別計画の方向性とリンクさせながら、重点項目を表現していく予定である。

【委員】

P36 以降のページについて、フォントの使い方が統一されていないように感じる。メインの基本構想部分にメリハリをもたせるなど、デザイン性を見直してはどうか。

【事務局】

本文はゴシック体を使用し、図表は明朝体を使用している。あらためて全体を確認する。

【委員】

P12 「SDGs」の注釈表記が分かりにくい。

【事務局】

分かりやすくなるよう表記を再検討する。

【副会長】

P22、23 「岸和田市の成り立ちと変遷」の文章は、明治期以降のものが中心となっており、古代の重要な資産である久米田池の話が文章に出てこない。どの年代について記述するか、写真をどうするか、整合性やストーリーを再度見直してほしい。

【会長】

各委員からのご意見を踏まえ基本構想のパブリックコメント案については、各記述や図表の検討・修正をお願いしたい。また、具体的な ICT 技術の記載をはじめその他についても、事務局で検討し、最終案を固めていただきたい。

- 議題3について事務局から説明を実施
- 意見表明及び質疑応答を実施（以下のとおり）

【委員】

P66 みんなでめざそう値「生活排水適正処理割合」のように、一見しただけでは内容や積算根拠が分かりにくい。その他のめざそう値についても、どのような積算をしているか、資料として添付したほうがよい。

【委員】

P82 個別目標の方向性「地域の活性化を導く拠点の形成を進める」に関連して、事業者の活動を行政が誘導することも大事だが、事業者の自由な発想で活動や創業を進めることが必要である。そのあたりをうまく調整することが求められる。

【委員】

P18 みんなでめざそう値「所在不明児童生徒の数」はどのような内容か。

【事務局】

基本的な義務教育を受けられていない子どもがいないかどうかを測る指標として「所在不明児童生徒数」をあげている。基本的には、0を維持することが目標となる指標である。

【委員】

P68 みんなでめざそう値で自然資料館に関連する指標があるが、これだけでは自然資料館の取組だけが影響するものに見えてしまう。同じような視点で水と緑に関する計画など、本来は各分野や担当課が関連しており、その中で自然資料館が一つ象徴として出ているものだと思う。

【委員】

自然資料館のイベントを見ると、参加者の年齢条件が決められていることがあるが、大人は参加できないのか。

【事務局】

子どもを対象とした学習会なども多いが、それぞれのイベントによって大人が対象となっているものもある。

【委員】

P18～19 個別目標の方向性①「適正な就学・就園や経済的な支援により教育の機会を確保する」について、行政の役割をみると、安心して通学・通園できる環境を整えること、また経済的な支援を行うと記載されているが、その下の個別目標の方向性②の役割と比べると、これだけの内容でいいのか気になる。もっと分野横断的で具体的なアクションを記載することはできないか。

【事務局】

子育てを取り巻く環境が複雑化している現状があり、個別目標の方向性①で経済的な支援という福祉的な観点を一つ挙げている。続いて、個別目標の方向性②「子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う」は教育面での支援を挙げている。その他のページでも、様々な角度から

子育てに関する記載をしており、それらを総合的に支援していく必要がある。

【委員】

P18 みんなでめざそう値「所在不明児童生徒の数」とあるが、0が当たり前なのではないか。また、公民の役割についても、「子どもの教育に関心をもつ」とか「就学の支援を行う」なども、具体的な別のものに置き換えたほうがよいのではないか。

【委員】

市内で内密出産や出産後の置き去りなどの事例はあるのか。

【事務局】

市内の状況は把握していない。

【委員】

P45 想定される公民の役割の中に、民生委員に関する記述があるが、児童委員も同じく記載していただきたい。

【委員】

各ページの右下に視覚障害者のためのUni-Voiceが記載される一方、右上の関連部局については、ただ単に記載するだけでなく、聴覚障害者などがコンタクトをとりやすいよう、メールアドレスの連絡先などを記載していただきたい。

【委員】

私は個人的に里親をやっているが、日本は世界と比べて里親への理解が低い。さらに、大阪はその中でも低い現状がある。そこで、総合計画に里親の記載を載せることでもっと活動も広がっていくと考えるため、検討していただきたい。

【事務局】

地域で支えていくという視点から記載を検討していく。

【委員】

P90～91 個別目標「持続可能で信頼される行政になっている」に関連して、内部統制の確立を進めていく必要があると考えている。山口県阿武町で給付金の振込みミスがあり、人為的なミスではあるが岸和田市は大丈夫かなと心配していた。できるだけ早期に制度の確立を図っていただきたい。

【委員】

P78～79に「観光資源をつなぐ仕組み」や「観光ルートの構築」が記載されているが、行政の役割には、「観光客の受け入れ体制を整える」程度の記載しかない。また、「新たな観光資源の創出を支援」と記載されているが、現状と課題に関連した記載がない。「新たな観光資源の創出」とは何かという点と、もう少し具体的な行政の役割があれば分かりやすい。

例えば、ユニバーサルデザインやピクトグラムを入れた観光案内を充実させることや、観光ルート構築としては、バスや関西国際空港、大阪駅をつなぐものなどそういったものがあつたほうがよい。

【事務局】

「観光客の受け入れ体制を整える」に関しては、行政が管理している施設の充実を進めていくというのが一点ある。また、「これまでの観光資源を大切にしつつ、時代に応じた磨き上げを行う」とあるように、観光ルートの構築や地域の観光資源を含めてそれらを相互につないでいくことをイメージしており、時代に応じた形で観光を盛り上げていくことが必要だと考えている。記載については、引き続き検討する。

【委員】

ICTを使った具体的な取組がもっと表現できればよいと思う。例えばP18に「ICTを活用した教育の充実」とあるが、一人ひとりの学習状況や進路に合わせてICTを活用し、その子どもにあった学習を提供するなど書いたほうがよいのではないかと思う。また、ICTのツールを使うと書いて終わりではなく、実際の現場で教師が使えるようにするなども書いたほうがよいのではないか。教師のほうで活用できる技術がまだまだ足りてないので、もったいない。

その他、健康分野においても、P46のジェネリック医薬品に関連して、例えばマイナンバーカードが保険証の代わりに使えるようになってきていて、これまでの診療記録がいつでも確認できるようになっている。今まで処方された薬も患者が管理しなくても、自動で記録してもらえる。そして、このような情報を例えばファイナンシャルプランナーに提供する、また、ケアマネジャーに提供する。これにより、情報に基づいた適切なサービスの選択肢を勧めてもらえるというようなサービスができる。そういった連携を事業者と進めるのも、今がチャンスだと思う。

P88 みんなでめざそう値「市ウェブサイトへのアクセス数」について、個別目標の方向性を測る適切な指標となっているか疑義がある。例えば、市民参加できる場をどれだけ提供したか、どれだけコミュニケーションが発生しているか、そういったところを評価できればよいのではないか。

P90「ペーパーレス」が「ペーパーレス」になっている。

P92 オンライン申請について、本当に便利でないと意味がなく、死亡の際の手続きがひとつの場所で、ワンストップでできるということが、重要になる。

【委員】

マイナンバーカードの活用について、市民全員が情報リテラシーを持っていれば問題ないが、実際はそうではない。推進していくような記載だけではなく、一定謙抑的に記載することも考えるべき。

【委員】

基本計画への記載の仕方は皆で議論して決めればよいが、マイナンバー自体はすでに一人ひとりに付番され、活用が進んでいるので、皆が知識を正しく持つのが大事である。マイナンバーカードを発行するかしないかは別の問題で、もうすでに医療データは蓄積されている。

【委員】

情報管理にはリスクが付き物で、もろい。人間の情報を集めて新しい医療制度や治療法に活用できるということは、頭の中では分かっているが、それを社会的な制度の中でどういう具合にうまく活かしていくかが問題である。

【会長】

データを社会の基盤として活用し、豊かな市民生活を実現していくという大きな方向性としては問題ないものだと思うが、そこに至るプロセス、具体的なサービスや情報管理、ネットワークの構築についてはまだまだ留意しなければならない点がある。また、どのようにその情報を自ら管理できるのかという点については試行錯誤が続いている。ただし、先進的な国ではそれが実現されていて運用されているということもあるので、可能性を検討して安全に配慮しつつ、それらの状況を踏まえて市としての立ち位置を考え、基本計画に書き込んでいくことになる。あまりこれという明確な方針は出てこないかもしれないが、大きな方向としてのデジタル化、もう一方では安全性・信頼性の確保、丁寧な対応ができるようになることが当面の大きな課題だと思う。

【委員】

私は、文化や歴史に関連する活動をしているが、例えば、岸和田には、図書館はあるが、美術館や博物館がなく、子どもたちにいろんな機会を与えていくには、他市に行くしかないということになる。また、子どもが小さい頃から色々なものに触れさせようと思うと、どうしても小さな所から始まる。今は公民館などで小さな子どもたちが楽しめるようになってきたが、子どもが大きくなって色々なことが知りたいとなった時に何ができるか。行政と市民が連携してどのようにして行っていくのか。ここに書いている内容だけでは物足りないと感じている。音楽ホールなどもあるが、そこに子どもたちがたくさん来ているということもあまり見たことがない。子どもたちが、芸術や文化への感覚を養っていくために、現状の施設などをどのように活用していくか具体的に示してほしい。ここに書かれていることは今までも取り組んできたことであり、もう少し協働できるような形をつくっていただきたい。

【事務局】

岸和田市が持つ資源をより活用していくことが求められており、資源がある中で、なかなか利用が進まない現状を変えていくため、協働・つながりということを各事業としても意識していかなければならないと感じている。文言等について検討していく。

【委員】

市民が「こんな活動をしたい」というときに、どの窓口で相談すればいいのか、具体的な課があればうれしいと思う。

【委員】

学習グループをつくり、公民館で「岸和田の成り立ち」などを学ぶ公開学習会を開催したところ、グループのメンバーは11名だが、30名くらいの参加があった。市民がこのような会を開いており、昔は市の予算が付いたものもあったが、そのような予算はカットされ、参加者でお金を集めてやっているなど市民が頑張っている。

【委員】

P32 に個別目標「郷土の歴史や文化が引き継がれている」とあるが、本当に歴史や文化が引き継がれているか疑問に思うこともある。私は久米田古墳公園の近くに住んでいるが、埴輪が壊されていたという状況が確認されている。誰が壊したということではないが、近くにそのような遺跡があり、それが壊されている事実というものを、小学生くらいから知ってほしいと思う。例えば、高槻市にも古墳公園があるが、きれいに整備されており、うらやましいと思う。そのような現状も理解してもらい、総合計画に盛り込んでいただきたい。

【会長】

芸術・文化活動をどのように充実させていくか、行政の役割あるいは行政と事業者による協働など、公民連携の視点から、両委員からの指摘のあったとおり、しっかり書き込んでいただきたい。

【委員】

岸和田というまちを知るための材料としての文化が、なかなか表に出てきていない状況で、岸和田の歴史などをわかりやすく教えていく場があれば、子どもたちが見学に行けて、そこで大人たちが話をし、郷土に触れ、つながりができる。今の市民は、岸和田にどのような文化財や芸術作品があるのかを知らない。それらを広めていくことが私たちの役目であると思い活動している。

【委員】

P74 のみんなでめざそう値「付加価値額」とあるが、どのような意図か。

【事務局】

市内の事業者の活躍が広まっていく方向性を踏まえて、それに向けて市内民営事業所数や付加価値額の指標を定めている。事業を行うことで、どれだけの価値を生み出したかという点に着目し、事業者の活性化状況を把握したいと考えている。

【委員】

市民にとって、事業者の付加価値額は関係あるのか。

【事務局】

事業者が売上を伸ばすことで経済を活発にしていくかという視点であり、地域でお金を回すこと、そして、回るお金がより大きくなった方が市民にとっても望ましいということで理解をいただきたい。

【委員】

私は小さな事業所を営んでおり、資本金、従業員数、毎月の売上等について経産省から細かい調査があるが、そのような調査の結果から岸和田市全体でどれくらいの価値が生じているかといったことは分かると思う。

【委員】

P48 個別目標の方向性「障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める」について、行政の役割として「社会生活を支える障害福祉サービスなどを提供する」とある。「社会生活」については、外に出て何か支援するサービスであるが、実際に障害を抱える人たちは、日々の暮らしの中での生活を支える場所を必要としており、社会生活に対するサービスだけでは支えきれないのが現状である。

行政の役割として、P50 個別目標の方向性「住宅困窮者に居住支援を行う」に通じることもあるが、「事業者や団体、地域だけでは支えきれない暮らしの場の支援体制を整える」という文言を追加していただけないか。

【事務局】

「社会生活を支える」という言葉の意味を整理し、記載を再度検討する。

【委員】

家族に障害者があり、ヘルパーに来てもらうこともあるが、「日常生活を支える」といった内容が的確ではないか。

【委員】

少し意味が異なる。障害のある人が、自立した生活をめざしたいと思う、国としても地域で自立生活ができるようにすると提言されているが、障害者が自立生活をするのは、実際はなかなか難しいのが現状であり、これから担うべき行政の役割を示している。

【副会長】

お願いしたい点が3点ある。

1 点目として、今の基本計画の構成では、縦割りに見えてしまう。どのようにして横串を入れていくかについては、重点目標をどのように書くかということになる。地域の中には、公民館があり、地域単位で市民センターなどの施設もあり、子どもたちには学校がある。文化活動だけでなく市民交流活動も含めて、このあたりをいかにしてつないでいけるか、様々な活動拠点がそれぞれの役割に応じて、どんなつながりで全体的を盛り上げていくか、横串を刺さないと書けないと思う。公共施設を市民がうまく活用できるような仕組みを整えていくかなど、重点目標として書いていくことができれば、先ほどの意見は受け入れられると思う。

2 点目としては、観光のネットワーク化を図るという点で弱いのではないかという意見があったが、その観点でP82を見ると、様々な交通機関をつないでいくサービスとして「MaaS（マース）」というものがあるが、個別目標の方向性として「②拠点へのアクセス性の向上を図る」とある。「拠点への」という表現では一方通行というイメージがあり、MaaSというものは、いろんな交通機関をつないで循環を成り立つようにしていくものであるので、「拠点へのアクセス」という書きぶりを違う表現にしていけば、先ほどのネットワーク性などの意見も受けられるのではないか。

3 点目としては、細かいことになるが、P88 の指標に「市内のNPO法人数」とあるが、現状では法人格が多様化しているので、NPO法人を取得しない人々も出てきている。具体的には、

一般社団法人やビジネスに絡むものでは合同会社などがある。NPOの数は全国的にも伸び悩んでいるところもあり、この指標が増えることが、本当にいいのかどうかという時代が変わってきていると思う。社会状況の変化を踏まえ、この指標を残して数値を設定するか、別の指標を設定するか検討していただきたい。

【委員】

NPOの指標の件については、多様な団体ということであればいいのではないかなと思う。ただ、それなら数値を把握しにくいということもあり、考えていく必要があるが。

P88の「市ウェブサイトへのアクセス数」については意味がないように思う。せっかく右のページに「議会」が出てくるので、議会や審議会の傍聴者数や、できるかどうか分からないが、議会のホームページから議会の視聴できるようにし、そこへのアクセス数なども考えてみてはどうか。行政というより市政、市民と市政のコミュニケーションにつながるような指標があってもいいのではないかな。

【委員】

指標に関しては細かいところではあるが、意見がある。P46「国民健康保険料の収納率」「後期高齢者医療保険料の収納率」は頭打ちになっているところであり、岸和田市の数字は全国的にみてもよいと聞いているので、他の指標もあってもいいのではないかな。

また、女性の社会進出のところでは、審議会の女性比率などがあつたが、公的機関が選定に関与するものでは意味がなく、民間企業の管理職や議員の比率といったものの方が、女性の社会進出につながるものではないかな。

【会長】

指標の設定について、現状では意味がないという意見が出たものもあり、その点も踏まえて事務局で検討いただきたい。先ほど提案いただいた指標については、設定可能かどうかといった点も重要な要件になるので、その点についても検討いただきたい。

【委員】

全体を通した意見となるが、基本構想含めてPDCAということで総合評価も行いながら進めていくこと、基本計画の方でも「みんなめざそう」ということで、想定される役割について、個人、事業者の課題それぞれを掲げている点はよいと思う。また、事例や関係する計画が一覧できるレイアウトもよいと思う。

実際にPDCAを進めるのが行政となる都合上、「行政がめざそう」という形になるケースが多いものの、「みんなめざそう」というコンセプトとなっていることはよいと率直な感想としてある。その上で、できたらこういう点もあればという意見として、個人、事業者、行政でそれぞれ主力が異なることもあり、方向性に関しては、三者それぞれの姿勢が見えてくるような工夫があればよりよいのかなと思う。

また、今後の計画の運用として、行政としての事務事業を紐づけしていくと思うが、合わせて事業者や個人が、それぞれが果たす役割も見えていくようにできればよいと思う。

【委員】

先ほど「審議会の女性委員の割合」が不適當ではないかという意見が出たが、やはり現状は高くはないので、入れていただきたいと思う。加えて、先ほどの意見にあった議員や民間事業者の指標も入れていただきたい。

【会長】

それでは、本日いただいた意見を踏まえ、事務局の方で基本構想についてパブリックコメントを実施し、基本計画案づくりを進めていく。そして今後の審議会で改めて検討させていただくことになる。

■その他

【会長】

次回の審議会の開催日程については、事務局から令和4年7月下旬の開催で提案があったが、引き続き、各委員との調整をお願いする。

■閉会

以上

■次回開催予定

令和4年7月下旬頃（日時詳細については、事務局で調整）